

スポーツで県1位に輝く

第47回岩手県中学校新人大会サッカー競技(10/17、18)
遠野中学校サッカー部



写真提供/遠野中学校

同大会は安比高原スポーツパークで開かれ、遠野中サッカー部が優勝。大会4連覇を果たしました。全4試合で18得点2失点を他を圧倒。主将の馬場大瀬さんは「守備と持ち味のパスサッカーを磨いて日本一を目指す」と意気込みました。

第24回岩手県中学校新人大会陸上競技大会(10/17、18)

菊池 優空さん(遠野中2年)



岩手県宮陸上競技場(盛岡市)で開催された同大会の2年男子100mで、菊池さんが11秒84(予選11秒80)を記録し優勝。菊池さんは「優勝は嬉しいがタイムは納得していない。全身をバランス良く鍛え、次は11秒台前半を出したい」と意欲を高めました。

第3回岩手県小学生選抜陸上競技大会(11/3)

佐々木 悠希さん(土淵小6年)



同大会は宮古運動公園陸上競技場(宮古市)で開かれ、6年男子100mで12秒24(追い風2.6m/s)を記録した佐々木さんが優勝しました。佐々木さんは「スタートから後半まで思い通りに走れた。中学校では11秒5を切りたい」と目標を定めました。

優れた教育活動に県表彰

教育表彰・学校教育分野

土淵小学校(77人、佐々木哲也校長)



『遠野物語』の理解と観光施設での発表を長年継続し、児童の表現力育成と地域文化の振興に貢献したとして同校が表彰されました。佐々木校長は「立派な賞をいただいたこの後が大事。誇りを持って活動を続けたい」と思いを語りました。

教育表彰・社会教育分野

遠野高校PTA



同PTAは、生徒・教職員と連携してあいさつ運動や学校行事への参加・支援を展開。活動を通して多年にわたり社会教育振興に寄与したとして受賞しました。松原会長は「歴代会員が築いてきた活動への思いを大切に継承したい」と力を込めました。

教育表彰・社会教育分野

上郷しし踊り保存会

学校や地域と一体となった郷土芸能の伝承活動を長年継続し、青少年の健全育成と社会教育の振興に貢献したとして同保存会が表彰されました。佐々木会長は「地域づくりの柱である郷土芸能を、守り伝えていきたい」と思いを語りました。



会長 佐々木國允さん

昭和49年から37年にわたり教育活動に従事。市内外の小学校で学力向上と部活動指導に励んだほか、教育委員会に勤務し教職員への指導にも力を注ぎました。また、土淵、上郷、遠野中学校などで校長を歴任し、障がいのある生徒への支援や不登校問題の解決に尽力しました。赤羽根さんは「地域の人々の支えがあって、生徒と全力で向き合ってきた。今後も力の限り恩返しをしていきたい」と熱を込めて語りました。

瑞宝双光章



元公立中学校長
赤羽根 昭三さん
70歳=中央通り=

瑞宝単光章



元遠野保育園園長
(現鱒沢保育園園長)
高橋 幸子さん
64歳=小友町=

昭和52年に駒木季節保育所に勤務して以来、保育士として40年余りにわたって子どもたちの成長を支えました。平成20年からは綾織保育園や青笹保育園などで園長を歴任。延長保育や休日保育の充実など多様な保育サービスの基盤づくりに尽力しました。高橋さんは「子どもたちや地域との関わりにワクワクし続けた40年。保育に到達点はないので、日々勉強を続けていきたい」と意欲を新たにしました。

平成6年から26年以上にわたり調停委員を務め、離婚や遺産相続などに関するトラブル解決支援に尽力。当事者の気持ちに寄り添いながら、数多くの問題を解決に導きました。また、岩手調停協会連合会副会長や遠野調停協会会長などを歴任し、後進の育成にも力を注ぎました。前川さんは「これからも研さんを積んで、人や時代の違いに気を付けながら、当事者が前に進むための支援をしたい」と思いを語りました。

藍綬褒章



調停委員
前川 敬子さん
70歳=新穀町=

秋の叙勲・褒章

長年の功績や日々の努力を褒め、栄光に輝いた皆さんをご紹介します。

各種表彰※敬称略

- ◆第12回遠野市農林水産業賞(11月30日、あえりあ遠野)
- 経営部門
昆野衛・裕子(小友町)、山本友美・貞子(附馬牛町)、田中實(土淵町)、入倉康彦(青笹町)、佐々木孝明(宮守町宮守)
- むらづくり活動・文化部門
谷地高瀬活動組織(菊池朝男代表、松崎町)、山口のおな

- ごだち(土淵町)、中沢畑わさび研究会(佐々木隆光会長、青笹町)
- 功労部門
昆光義(綾織町)、佐々木良一(附馬牛町)、鳥屋部静夫(松崎町)、菊池克夫(土淵町)、佐々木悦男(青笹町)、堀切勇(青笹町)、多田順一(宮守町達曽部)、多田清悦(宮守町達曽部)

令和2年度岩手県知事表彰・保健医療功労

元岩手県立遠野病院院長

貴田岡 博史さん(72歳・綾織町)

昭和50年から医師として歩み始め、同58年に遠野病院に着任。平成13年から院長を務め、在宅ケアや介護保険制度の礎を築きました。貴田岡さんは「遠野で多くの仲間恵まれて、先進的な在宅ケアをすることができた」と感謝を込めました。



医療法人財団正清会六角牛病院総看護師長

高木 千鳥さん(61歳・附馬牛町)

同院で29年間看護師として患者に寄り添い、平成22年以降は同院総看護師長や日本精神科看護協会岩手県支部長を歴任。後進育成にも尽力しました。高木さんは「より気軽に相談できて、地域に頼られる病院にしたい」と意欲を新たにしました。

